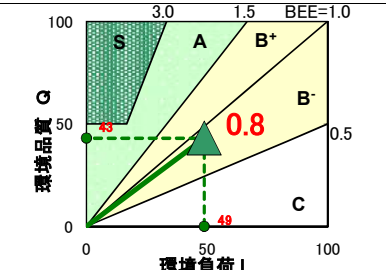
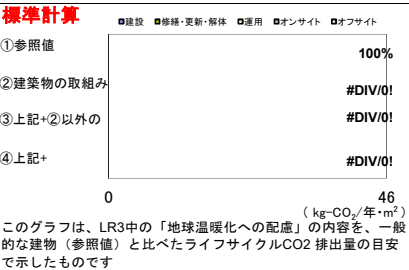
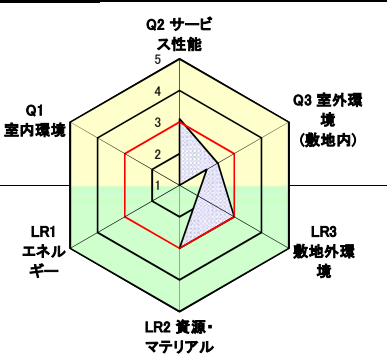
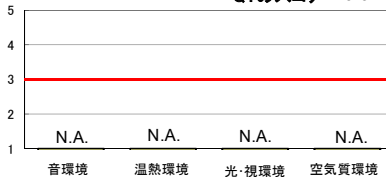
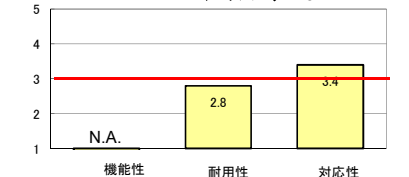
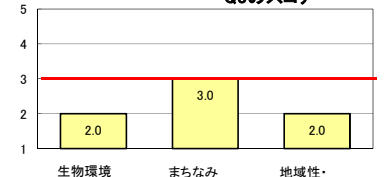
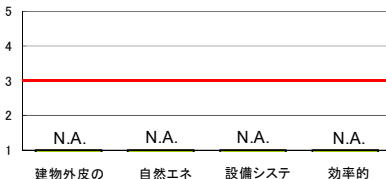
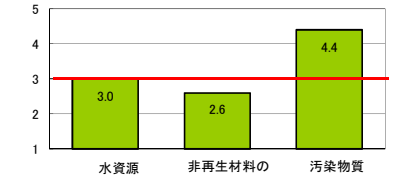
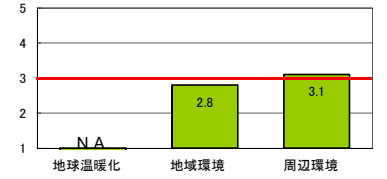


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_通称版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(V2.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 鈴建輸送株式会社 都田物流センター 新築工事	階数	地上1F
建設地	静岡県浜松市浜名区都田町7801-1、7801-10、7801-11、7801-12、7801-13、7801-17、7801-18、7801-21、7801-22、7801-23、7801-35、7803-4、7804-24	構造	S造
用途地域	地域指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	20 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2024年10月9日
敷地面積	21,906 m ²	作成者	山本 陽介
建築面積	2,005 m ²	確認日	2025年11月1日
延床面積	2,365 m ²	確認者	鈴木 利幸

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.8 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 	

2-4 中項目の評価(バーチャート)
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 0.0  音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境 Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1  機能性 耐用性 対応性 Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.4  生物環境 まちなみ 地域性・ LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 0.0  建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的 LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0  水資源 非再生材料の 汚染物質 LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0  地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
物件は常温倉庫ですので、省エネの計算対象外になります。	特になし。	
Q1 室内環境 評価対象外。	Q2 サービス性能 階高:3.9m以上。 0.1≦ [壁長さ比率] < 0.3	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 評価対象外。	LR2 資源・マテリアル LGS使用している。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用しません。 「光害対策ガイドライン」の項目の過半を満たす。また、「広告物照明の扱い」の全ての配慮事項を満たしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1. 建物概要									
建物名称	(仮称) 館連輸送株式会社 都田物流センター 新築工事				BEE	0.8	BEEランク	B-	★★
2. 重点項目への取組み度									
重点項目	得点※/満点		取組み度				評価		
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	#DIV/0!	/5	    				#DIV/0!		
”災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	2.7	/5	    				がんばろう 		
”しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	2.8	/5	    				がんばろう 		
”緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.3	/5	    				がんばろう 		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例		よい 4 点以上		ふつう 3 点以上		がんばろう 3 点未満
3. 重点項目についての環境配慮概要									
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。					内訳対応項目				
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)					得点		#DIV/0!		
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) 特になし。				Q-1	2	2.1	2.1.2	① 外皮性能
					Q-1	3	3.1	3.1.3	② 昼光利用設備
							3.2	3.2.1	③ 昼光制御
					Q-2	2	2.2	2.2.1	④ 躯体材料の耐用年数
							2.2.2	2.2.2	④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔
							2.2.3	2.2.3	④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔
							2.2.4	2.2.4	④ 空調換気ダクトの更新必要間隔
							2.2.5	2.2.5	④ 空調・給排水配管の更新必要間隔
							2.2.6	2.2.6	④ 主要設備機器の更新必要間隔
					Q-3	1			⑤ 生物環境の保全と創出
					3	3.2		⑥ 敷地内温熱環境の向上	
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) 評価対象外。				LR-1	1			⑦ 建物外皮の熱負荷抑制	
					2			⑧ 自然エネルギー利用	
					3			⑨ 設備システムの高効率化	
					4	4.1		⑩ モニタリング	
						4.2		⑩ 運用管理体制	
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑫LGS使用している。 ⑬ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。				LR-2	1	1.1		⑪ 節水	
						1.2	1.2.1	⑪ 雨水利用システム導入の有無	
							1.2.2	⑪ 雑排水等利用システム導入の有無	
					2	2.1		⑫ 材料使用量の削減	
						2.2		⑫ 既存建築躯体等の継続使用	
						2.3		⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用	
						2.4		⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
						2.5		⑫ 持続可能な森林から産出された木材	
						2.6		⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み	
					3	3.1		⑬ 有害物質を含まない材料の使用	
						3.2	3.2.1	⑬ 消火剤	
							3.2.2	⑬ 断熱材	
							3.2.3	⑬ 冷媒	
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 特になし。				LR-3	1			⑭ 地球温暖化への配慮	
					2	2.2		⑮ 温熱環境悪化の改善	
”災害に強いしずおか”の形成(Disaster)					得点		2.7		
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特になし。				Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯ 耐震性
								2.1.2	⑯ 免震・制振性能
							2.4	2.4.1	⑰ 空調・換気設備
								2.4.2	⑰ 給排水・衛生設備
								2.4.3	⑰ 電気設備
								2.4.4	⑰ 機械・配管支持方法
								2.4.5	⑰ 通信・情報設備
”しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)					得点		2.8		
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ㉑階高:3.9m以上。 ㉒0.1≦〔壁長さ比率〕<0.3				Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画
						3	3.1	3.1.1	⑲ 階高のゆとり
								3.1.2	⑲ 空間の形状・自由さ
									⑲ 空間の形状・自由さ
					Q-3	3	3.1		㉑ 地域性への配慮、快適性の向上
”緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)					得点		2.3		
	■室外環境(敷地内)対策 (㉑生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上) 特になし。				Q-3	1			㉑ 生物環境の保全と創出
						2			㉒ まちなみ・景観への配慮
						3	3.2		㉓ 敷地内温熱環境の向上
					LR-2	2	2.5		㉓ 持続可能な森林から産出された木材
					LR-3	2	2.2		㉓ 温熱環境悪化の改善